

須磨町の編入以後の区域の変遷

大正9年の神戸市の編入後、区制の実施、境界の変更等により須磨の区域は変わっています。昭和6年に神戸市に区制が施行され、灘・葺合・神戸・湊東・湊・湊西・林田・須磨の8区がおかれしました。

その後、昭和16年に垂水町が神戸市と合併、須磨区に編入されました。しかし、昭和21年に分区し、垂水区が誕生しました。その後、昭和52年に菅の台、竜が台が垂水区から、昭和60年に神戸総合運動公園（緑台）が垂水区から、神戸市流通業務団地の一部が西区から編入され、現在の区域になりました。

① 須磨町神戸市編入時(大正9年) 面積24.80km²



② 昭和16年頃 面積56.73km²



③ 昭和45年頃 面積24.16km²



④ 令和2年現在 面積28.93km²



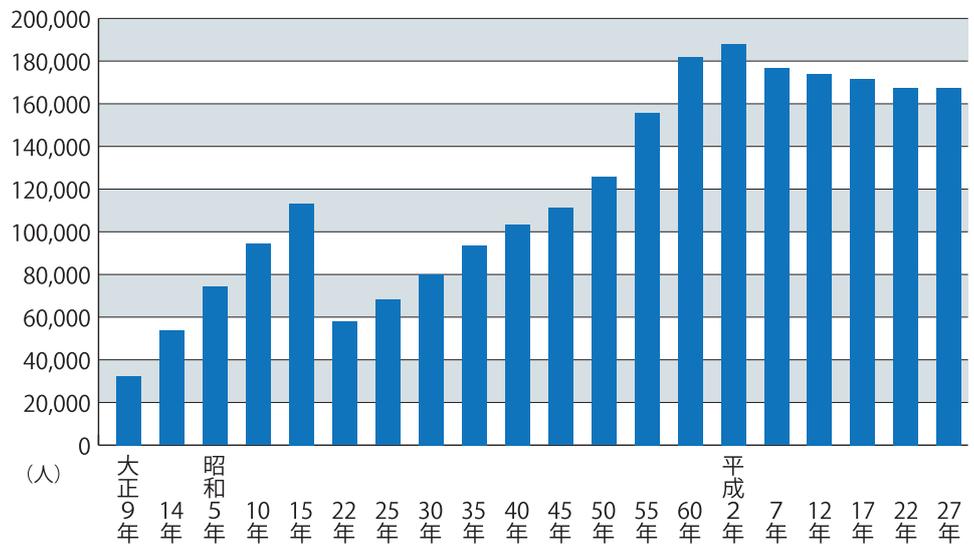
人口の移り変わり

戦前は神戸市の急速な発展もあり人口が増加しました。

第二次世界大戦では、戦災のため大幅な人口減少が見られます。

戦後は、ベビーブームとニュータウンの開発により大幅な人口増加が見られ、阪神・淡路大震災後は、神戸市外への転出もあり減少傾向にあります。

須磨町(須磨区)



参考文献

須磨神戸市編入50年記念誌 …… 須磨神戸市編入五十周年記念行事協賛会
 須磨区70年のあゆみ …… 須磨区役所

写真提供・協力(敬称略・順不同)

神戸アーカイブ写真館 神戸市文書館 山陽電鉄株式会社
 その他協力いただきました多数の個人、団体、関係機関の方々に深く感謝いたします。

おことわり

記事の内容・年代・日付・場所などにつきましては、誤り・漏れのないようできるだけ確認しましたが、万一誤り・漏れなどがございましたらご容赦ください。

文責 須磨区まちづくり課

編集協力 須磨区区民まちづくり会議 発行 令和2年3月 須磨区役所まちづくり課

表紙写真

鉢伏山から望む須磨海岸

上左 昭和6年頃

上右 昭和30年頃